

北区内の茅葺き民家調査 及び 茅葺き民家所有者等 E N Q 調査

結果概要

平成 21 年 3 月

北区まちづくり推進課

北区の茅葺き民家調査について

1. 茅葺き民家調査について

(1) 調査概要

資料1 茅葺き民家調査の概要

時 期	平成20年5月～平成21年3月
対 象	北区内の茅葺き民家（草・金属含む）
範 囲	本区、山田町、西大池、有野町、道場町、大沢町、淡河町、長尾町、八多町
調査件数	合計1051件（平成20年度新築1件含む）
内 容	過去の調査データに基づく位置確認及び写真撮影

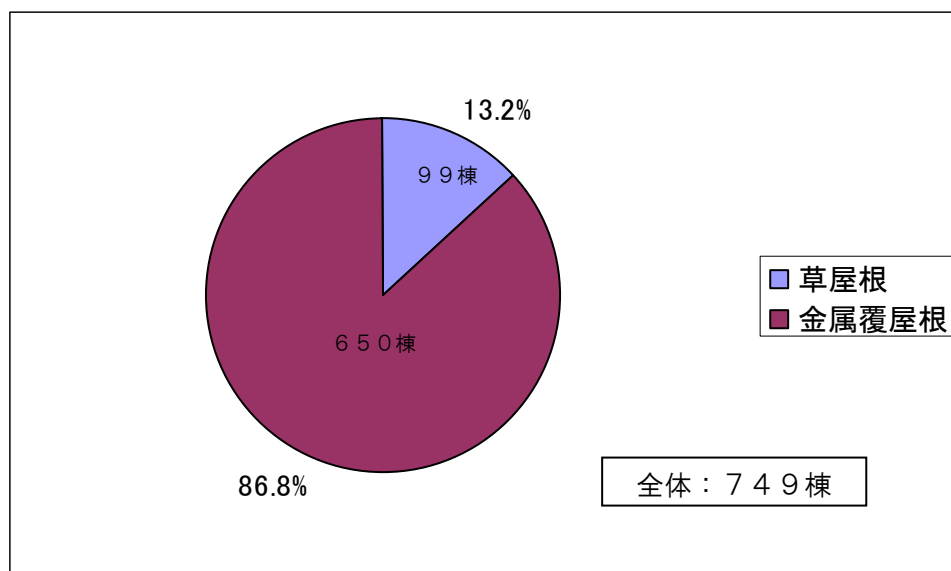
(2) 調査結果

① 全体

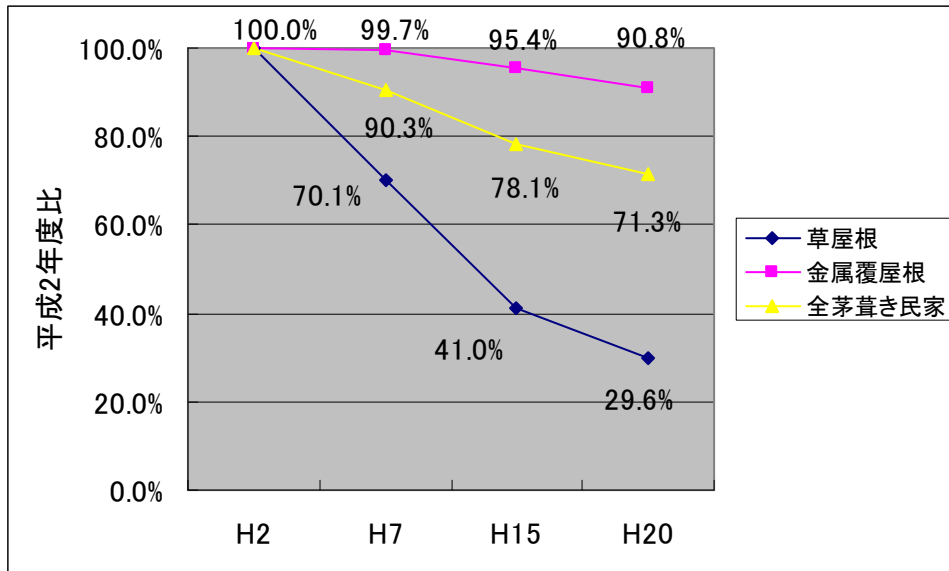
資料2 北区の茅葺き民家数の推移

年度	茅葺き民家			特記事項
	草屋根	金属覆屋根	合計	
平成2年度	334	716	1,050	平成2年度神戸市教育委員会調査 +推定
平成7年度	234	714	948	平成7年度神戸芸術工科大学調査 +推定
平成15年度	137	683	820	平成15年度市民団体茅葺き屋調査 +推定
平成20年度	99	650	749	今回の調査

資料3 平成20年度の北区内の茅葺き民家数



資料4 北区の茅葺き民家数の推移（平成2年度比）



資料5 茅葺き民家数の推移

合計：茅葺き民家（草＋金属覆）
1,050件

平成2年度

存在推定数：1,050



茅葺き
（草屋根）
334



茅葺き
（金属覆屋根）
716

60

234

40

674

42

平成7年度

存在推定数：948



茅葺き
（草屋根）
234



茅葺き
（金属覆屋根）
714

改築・建替（新築住宅等）
減失（駐車場等）
60

62

137

35

648

66

改築・建替（新築住宅等）
減失（駐車場等）
42

平成15年度

存在推定数：820



茅葺き
（草屋根）
137



茅葺き
（金属覆屋根）
683

改築・建替（新築住宅等）
減失（駐車場等）
62

30

98

9

641

42

改築・建替（新築住宅等）
減失（駐車場等）
66

平成20年度

存在数（実測）：749



茅葺き
（草屋根）
99



茅葺き
（金属覆屋根）
650

改築・建替（新築住宅等）
減失（駐車場等）
30

新築
1

改築・建替（新築住宅等）
減失（駐車場等）
42

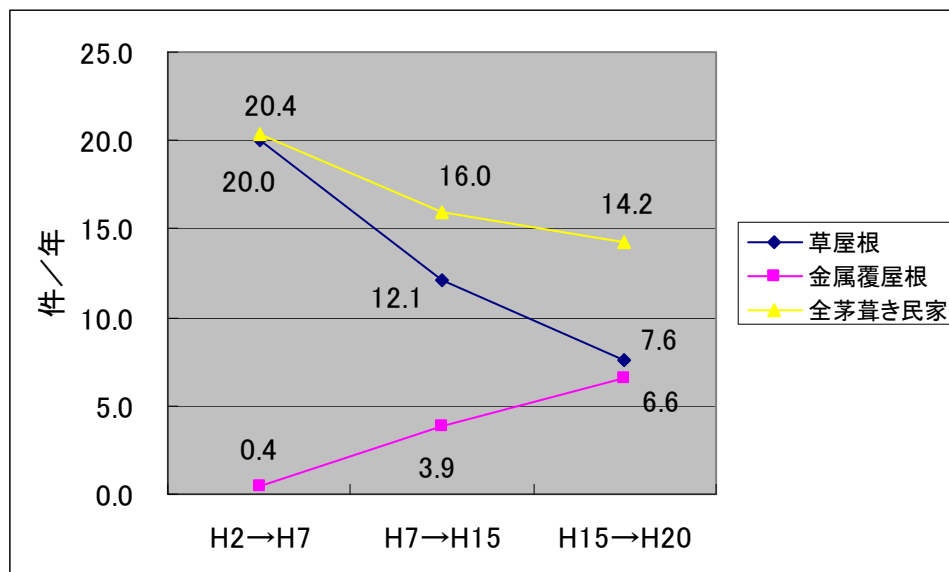
合計：茅葺き民家（草＋金属覆）
749件

② 茅葺き民家数の推移

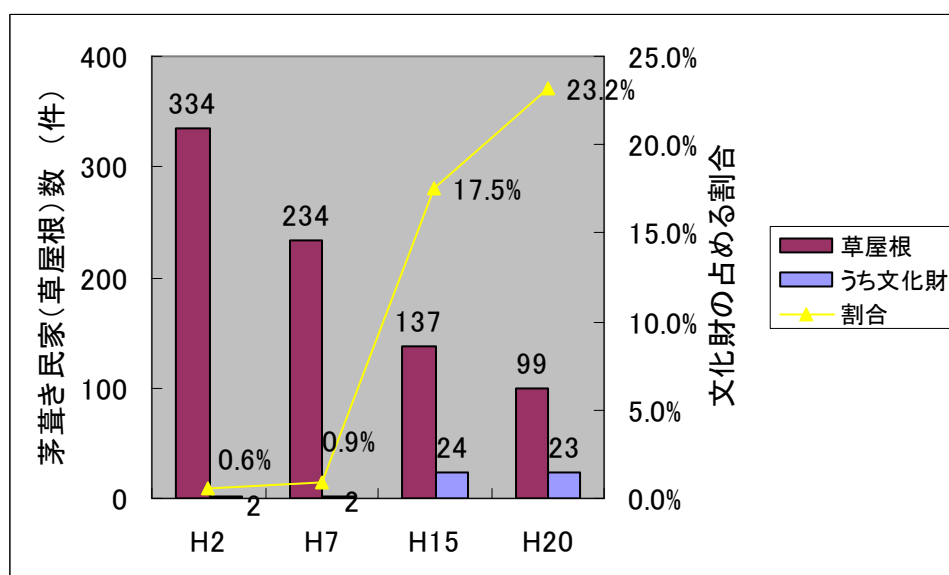
〈草屋根数の推移〉

- ・ 草屋根数は、急速に減少を続けてきた。これは、以下の2点が主な要因と思われる。
 - (一) 残す意図が無い場合、手入れをしないため、相対的に老化スピードが速い草屋根の方が、早く崩壊してしまうことが原因と思われる。
 - (二) 残す意図がある場合でも、維持が比較的容易とされた金属覆屋根に変更したケースが多い。
- ・ しかし、近年、減少スピードは緩やかになってきている。これには、全体数が減少するなか、保存の意思を持つ人（例：文化財指定数の増）が占める割合が相対的に増加していることが、要因の一つと考えられる。

資料6 茅葺き民家の年間減少数



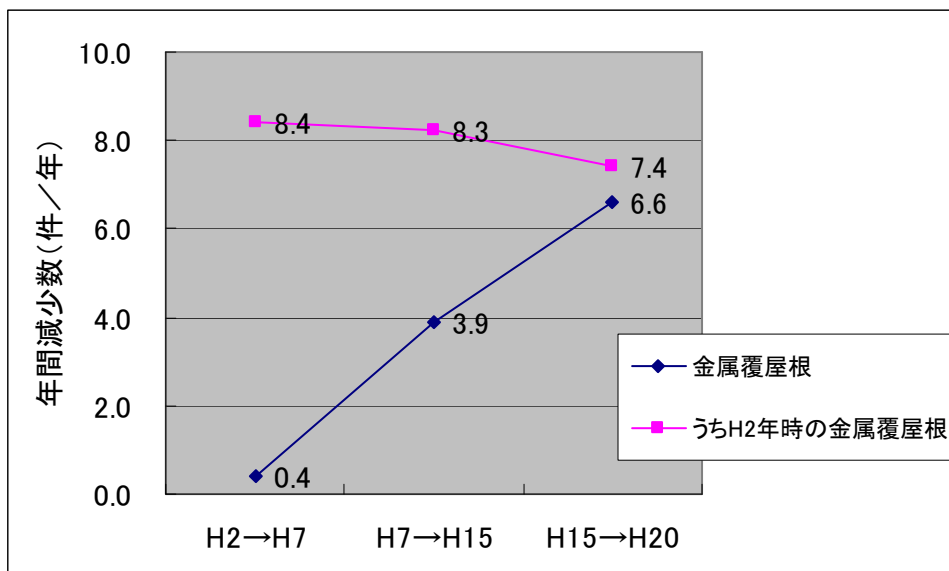
資料7 茅葺き民家（草屋根）数と文化財の占める割合



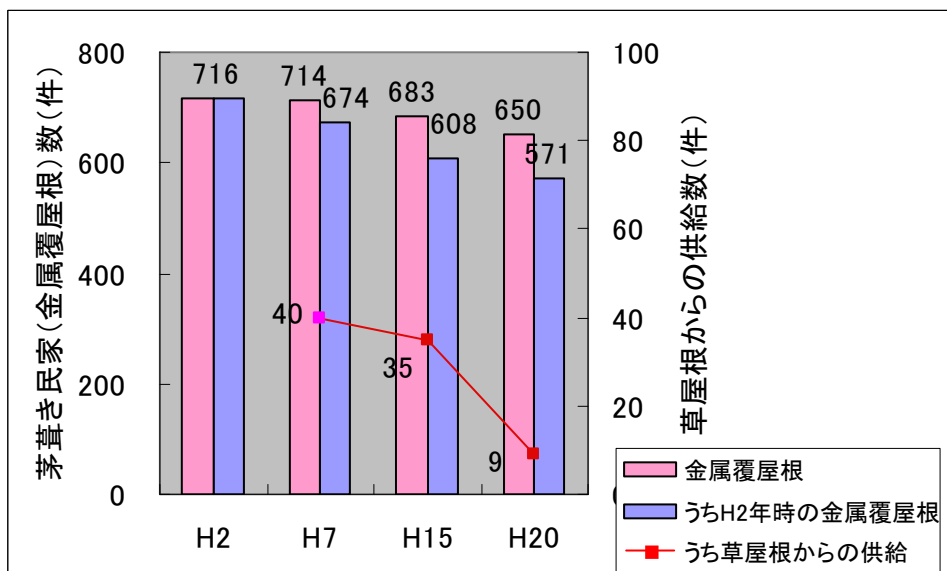
〈金属覆屋根数の推移〉

- ・ 金属覆屋根数は、これまで減少速度は比較的緩やかであったが、近年減少率が増加傾向（ほぼ草屋根の減少数と同レベル）にある。
- ・ これまで減少速度が緩やかに見えていたのは、草屋根が金属覆屋根に変わることで、金属覆屋根の絶対数が底上げされてきたことが影響していると思われる。
- ・ 今後は、草屋根から金属覆屋根への変更数がさらに減少するため、「平成2年時の金属覆屋根」の減少率に近づいていき、横ばいになっていくことが予想される。

資料8 茅葺き民家（金属覆屋根）数の年間減少数（件／年）



資料9 茅葺き民家（金属覆屋根）数の推移と草屋根からの供給



〈今後の茅葺き民家（草屋根・金属覆屋根含む）の推移予想〉

- ・ 茅葺き民家（草屋根・金属覆屋根含む）は、東面当面減少を続けていく。
- ・ 草屋根の減少スピードは緩やかになっていくものの、当面は減少を続けていく。
- ・ 金属覆屋根の減少スピードは、近年増加傾向にあったが、今後は横ばいとなり、当面は毎年一定数の減少を続けていく。

2. 茅葺き民家所有者等ENQ調査について

(1) 調査概要

資料10 茅葺き民家所有者等ENQ調査の概要

時期	平成20年10月
対象	北区内において、茅葺き民家が平成2年の時点で存在したと想定される位置に、現在お住いの方々。
内容	所有等している茅葺き民家について、 ①現状とその理由、②将来予定とその理由
配布数	920件
回収数	438件（回収率47.6%）
情報提供希望者数	279件（登録率63.7%）

(2) 調査結果

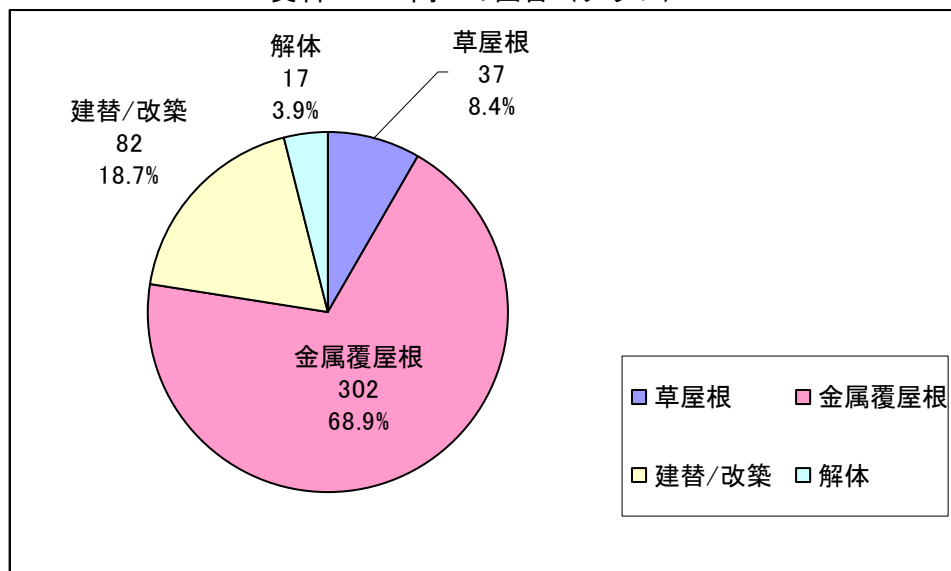
①各設問に対する解答

【問1】 茅葺き民家の現況

資料11 問1の回答

	草屋根	金属覆	建替・改築等	解体	計
回答	37	302	82	17	438
割合	8.4%	68.9%	18.7%	3.9%	100.0%

資料12 問1の回答（グラフ）



- ・ 草屋根のまま存続している家屋は少なく（8.4%）、大半が金属板で覆われている。また、改築、解体等で茅葺き民家の体裁を失ったという回答は、返答者のほぼ1/4あり、茅葺き民家が減少しつつある実態を反映している。

【問2】その理由（複数回答可）

〈草屋根を維持している人〉

資料13 問2のうち草屋根を維持している人の回答（主なもの）

	代々伝わったものを後世に残したい	茅葺きが気に入っている	文化財に指定（行政の支援があり）	葺き替え費用が高価	・ ・ ・
回答	24	17	10	10	・ ・
	65%	46%	27%	27%	・ ・

- ・ 草屋根を維持している理由で目立つのは、「後世に残したい」、「気に入っている」という意見である。これは金属覆屋根の場合にも多くみられ、古い民家を維持していく積極的理由と考えられる。
- ・ また、文化財に指定（行政の支援あり）されていることも草屋根を維持していくために効果があると思われる。これは、金属覆屋根の場合に「葺き替え費用が高価（なので金属板で覆った）」という意見が最も多いことから伺える。

〈金属覆屋根で維持している人〉

資料14 問2のうち金属覆屋根で維持している人の回答（主なもの）

	葺き替え費用が高価	茅葺き職人がいない	維持する方が安価	耐火性が不安	代々伝わったものを後世に残したい	茅葺きが気に入っている	・ ・ ・
回答	114	110	65	65	54	48	・ ・
	37.7%	36.4%	21.5%	21.5%	17.9%	15.9%	・ ・

- ・ 金属覆屋根の場合は、「後世に残したい」、「気に入っている」という意見も多く見られるものの、「葺き替え費用が高価」、「茅葺き職人がいない」との意見が第1～2位を占めることから、古い民家を維持したいが、経済性を考慮して、屋根を金属板で覆ったと考えられる。
- ・ また、建替えるより「維持する方が安価」という声も多く、一度金属覆屋根になると、経済性からも現状維持していくという傾向が伺える。

〈建替え・改築・解体をし、茅葺き民家を無くした人〉

資料15 問2のうち茅葺き民家を無くした人の回答（主なもの）

	老朽化	茅葺き職人がいない	耐火性が不安	耐震性が不安	・ ・ ・
回答	63	17	15	15	・・
	63.6%	17.2%	15.2%	15.2%	・・

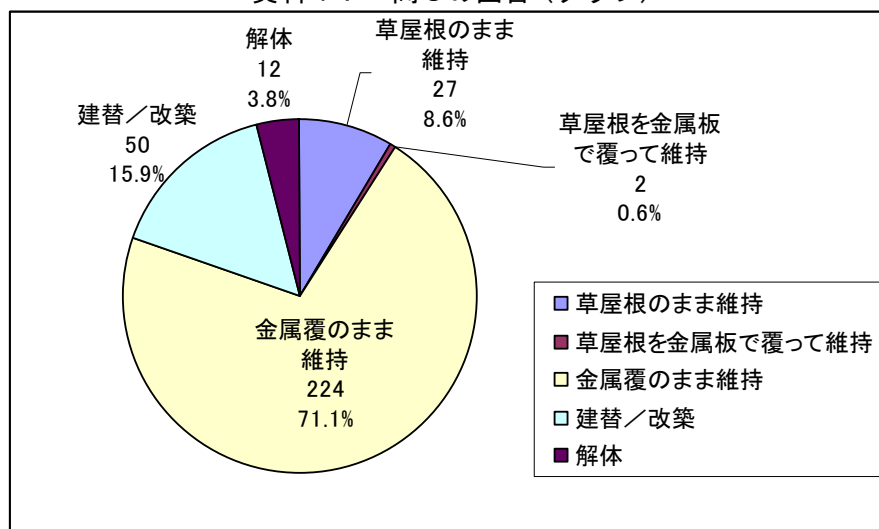
- ・ 茅葺き（草屋根及び金属覆屋根）をやめた理由の最大のものに、「老朽化」が挙げられている。また、「茅葺き職人がいない」、「葺き替え費用が高価」という回答も多く、後述の問5自由意見では、「茅の入手が困難」という意見が多い。
- ・ これらを踏まえると、「老朽化」と、人的及び物質的資源の枯渇による経済的理由が、茅葺き民家の維持を阻む主要因であるといえる。

【問3】茅葺き民家の今後の予定

資料16 問3の回答

	草屋根のまま維持	金属板で覆って維持 草屋根を	金属覆屋根のまま維持	建替・改築等	解体	計
回答	27	2	224	50	12	303
割合	8.9%	0.7%	73.9%	16.5%	4.0%	100.0%

資料17 問3の回答（グラフ）



- ・ 約80%が、茅葺き民家を維持したいという意向を持っている。

【問4】その理由（複数回答可）

〈草屋根で維持していく意向の人〉

資料17 問3のうち草屋根を維持していく意向の人の回答（主なもの）

	代々伝わったものを後世に残したい	茅葺きが気に入っている	（行政の支援があり）文化財に指定	耐火性が不安	・ ・ ・
回答	19	15	5	5	・・
	70.4%	55.6%	18.5%	18.5%	・・

- ・ 草屋根を維持する主な理由は、問2同様、「後世に残したい」、「気に入っている」である。

〈金属覆屋根で維持していく意向の人〉

資料18 問3のうち金属覆屋根で維持していく意向の人の回答（主なもの）

	維持する方が安価	葺き替え費用が高価	茅葺き職人がいない	代々伝わったものを後世に残したい	茅葺きが気に入っている	・ ・ ・
回答	79	60	55	49	39	・・
	35.0%	26.5%	24.3%	21.7%	17.3%	・・

- ・ 金属覆屋根の場合も、問2同様、古い民家を維持したいが、経済性を考慮して屋根を金属板で覆い、その後は、経済性を踏まえ現状維持していく傾向が伺える。

〈茅葺き民家を無くす意向の人〉

資料19 問3のうち茅葺き民家を無くす意向の人の回答（主なもの）

	老朽化	耐震性が不安	耐火性が不安	茅葺き職人がいない	葺き替え費用が高価	・ ・ ・
回答	44	19	16	9	7	・・
	71.0%	30.6%	25.8%	14.5%	11.3%	・・

- ・ 茅葺き民家を無くす場合も、問2と同様、「老朽化」と、人的及び物質的資源の枯渇による経済的理由が、茅葺き民家の維持を阻む主な要因であるといえる。

【問5】自由意見（件数：117件）

資料20 問5の回答（主なもの）

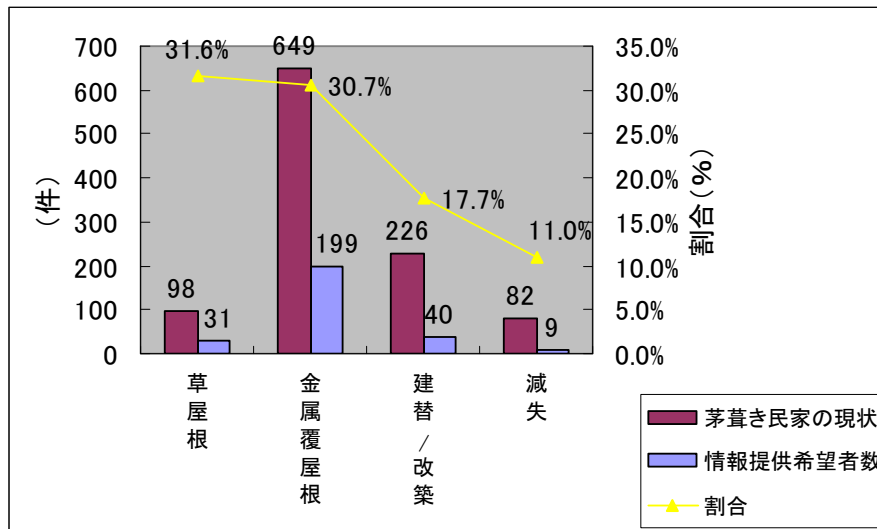
	夏涼しい	維持費が高い・ 手間がかかる	好き (景観・先祖の知恵等)	茅が無い	職人がいない	・ ・ ・	茅葺きに関する 情報提供希望	
回答	32	24	21	14	13	・ ・	6	
回答率	27.4%	20.5%	17.9%	12.0%	11.1%	・ ・	5.1%	

- ・ 「夏涼しい」は約30%が回答しており、実際の自由回答文を見るに、問2や問4で目立った「茅葺きが気に入っている」の大きな理由になっていると思われる。
- ・ 「茅が無い」も1割以上の回答があり、「職人がいない」と合わせた結果、「葺き替え費用が高い（維持費が高い）」となると思われる。
- ・ 「冬寒い」や「耐震性への不安」については、それぞれ「冬暖かい」や「耐震性への信頼」といった相反する意見も多く、一般論になりえないと思われる。
 - ① 「冬暖かい」8件 ↔ 「冬寒い」5件
 - ② 「耐震性への信頼」4件 ↔ 「耐震性への不安」8件
- ・ その他、特徴的な意見として、下記のものが見られた。
 - ① 「茅葺きに関する情報希望」(6件・5%)として、行政からの職人や葺き替え費用、文化財制度等の情報発信を希望
 - ② 「日常生活の不便さへの不満」(9件・8%)として、現在のライフスタイルに合わない構造への不満
 - ③ 「構造・造りへの満足感」(7件・6%)として、今となっては贅沢な材料や造りへの称賛の声
 - ④ 「維持費の支援希望」(5件・4%)として、行政からの維持費の支援を希望

【情報提供希望者数】（279名）

- ・ ENQ回答者の6割強が茅葺き民家についての情報を希望している。
- ・ 現存している茅葺き民家所有者（又は居住者）のうち、約30%の方々が、茅葺き関連情報を希望しており、その関心の高さがうかがわれる。また、茅葺き民家を無くした方々のうち、10数%の方々も希望しており、問2、4を踏まえると、「茅葺き民家を『残したかった』が、『老朽化』と『人的及び物質的資源』の枯渇による『経済的理由』により無くしてしまったが、今でも好きだ。」ということが想像できる。

資料2-1 情報提供希望者の属性



3. まとめ

(1) 現在の一般的な「負のスパイラル」

- ・ ENQ結果から読み取れる、一般的に茅葺き民家が消滅していく流れは、以下のとおりである。

茅葺き民家（草屋根）を所有又はお住いの方々は、「夏の快適さ」「田園景観」「昔の人の知恵」などから、「草屋根を気に入っている」。

→戦後も、「代々伝わったものを後世に残したい」「茅葺きが気に入っている」ため、茅葺き民家を「維持したい」。

→しかし、「茅葺き職人がいない」「茅が無い」ため「葺き替え費用が高価」であり、経済的理由から金属覆屋根に変更する。

→金属覆屋根変更後当面は、新たに建替えるより「維持する方が安価」なので、「現状維持」を続ける。

→「現状維持」を続けているうち、「老朽化」や「耐震性」の不安が高まり、止む無く取り壊しに至る。

(2) このまま放置すると

- ・ 茅葺き民家（草屋根・金属覆屋根含む）は減少を続けていく。
- ・ 草屋根の減少スピードは緩やかになっていくものの、当面は減少を続けていく。
- ・ 金属覆屋根の減少スピードは、近年増加傾向にあったが今後は横ばいとなり、当面は毎年一定数の減少を続けていく。

(3) 今後の方策（案）

- ・ 現在、北区所管事業である「茅葺きを中心とした『まち・こころ』づくり」事業では、「茅葺き民家」を北区の魅力ある個性の一つとして位置づけし、ソフト施策を中心とした事業展開により、下記のビジョン（将来像）を掲げている。

ビジョン

（将来像）

〈いつまでに〉

- ・ 5年後（平成24年度）

〈どんな状態にするか〉

- ・ できるだけ多くの茅葺き民家を、「茅」葺きのまま維持する。
- ・ NTの住民が農村集落の茅葺きに資する「北区版『結』」を結成し、茅葺き民家を「所有者」と「行政」だけでなく、「市民」と一緒に守り育てていく体制を構築する。

- ・ 上記ビジョンを達成するため、今回の2つの調査結果から、以下のように、課題と対策（案）をまとめた。

資料22 「茅葺きを中心とした『まち・こころ』づくり」事業における課題と対策

課題	対応方針	具体的方策（案）
材料（茅）が無い	(1) 材料（茅）の生産の 間接支援	① 道路のり面での茅生産のモデルケースとして、花山中尾台で区主催茅刈りイベントを実施 ② 地域主体の活動に対する間接支援。
茅葺き職人がいない		(2) 情報提供
茅葺きに関する情報がない	①茅葺き専門家による相談制度の検討 ②北区版「結」であるKOBEM茅の輪ネットワークの立ち上げ検討 ③所有者等への茅葺きイベント等情報配信制度の確立	
老朽化への不安		
耐震性への不安		
耐火性への不安		
行政からの支援	(3) 文化財保護	①既存制度である教育委員会事務局所管の文化財保護制度の活用

- ・ 今後、これらの課題及び対応方針を踏まえながら、「茅葺きを中心とした『まち・こころ』づくり」事業を推進していく。

【茅葺き民家調査 資料編】

(資料1) 調査データまとめ

	平成20年度調査結果									平成2年度時点の存在推定数 (H2教育調査+α)				平成7年度時点の存在推定数 (H7木工大調査+α)				平成15年度時点の存在推定数 (H15塩澤氏調査+α)										
	建物状況					葦材 (現存の内数)				現存	葦材 (現存の内数)				現存	葦材 (現存の内数)				現存	葦材 (現存の内数)							
	現存	(H20/H2)	改築	(H20/H2)	建替	(H20/H2)	減失	(H20/H2)	計		草	(草/現存)	金属	(鉄板/現存)		草	(草/現存)	金属	(鉄板/現存)		草	(草/現存)	金属	(鉄板/現存)	草	(草/現存)	金属	(鉄板/現存)
本区	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	3	60.0%	2	40.0%	5	3	60.0%	2	40.0%	5	3	60.0%	2	40.0%	5	3	60.0%	2	40.0%
西大池	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0.0%	1	0	0.0%	1	100.0%	1	0	0.0%	1	100.0%	0	0	0.0%	0	0.0%
山田	142	68.6%	4	1.9%	30	14.5%	31	15.0%	207	18	12.7%	124	87.3%	207	61	29.5%	146	70.5%	184	43	23.4%	141	76.6%	158	26	16.5%	132	83.5%
有野	79	68.1%	0	0.0%	35	30.2%	2	1.7%	116	7	8.9%	72	91.1%	116	31	26.7%	85	73.3%	101	19	18.8%	82	81.2%	83	7	8.4%	76	91.6%
道場	43	66.2%	0	0.0%	17	26.2%	5	7.7%	65	7	16.3%	36	83.7%	65	17	26.2%	48	73.8%	58	10	17.2%	48	82.8%	49	8	16.3%	41	83.7%
大沢	119	75.8%	1	0.6%	34	21.7%	3	1.9%	157	21	17.6%	98	82.4%	157	68	43.3%	89	56.7%	146	49	33.6%	97	66.4%	127	28	22.0%	99	78.0%
淡河	209	74.1%	1	0.4%	52	18.4%	20	7.1%	282	31	14.8%	178	85.2%	282	114	40.4%	168	59.6%	254	80	31.5%	174	68.5%	231	47	20.3%	184	79.7%
長尾	61	73.5%	0	0.0%	18	21.7%	5	6.0%	84	6	9.8%	55	90.2%	83	16	19.3%	67	80.7%	77	12	15.6%	65	84.4%	62	6	9.7%	56	90.3%
八多	91	67.9%	0	0.0%	28	20.9%	15	11.2%	134	6	6.6%	85	93.4%	134	24	17.9%	110	82.1%	122	18	14.8%	104	85.2%	105	12	11.4%	93	88.6%
合計	749	71.3%	6	0.6%	215	20.5%	81	7.7%	1051	99	13.2%	650	86.8%	1050	334	31.8%	716	68.2%	948	234	24.7%	714	75.3%	820	137	16.7%	683	83.3%

(資料2) 茅葺き民家の変遷

H2→H7→H15→H20 の推移

H20 の 推移 ↓ H2	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	金	金	金	金	無
	↓ 草	↓ 草	↓ 草	↓ 草	↓ 金	↓ 金	↓ 無	↓ 金	↓ 金	↓ 無	↓ 無	↓ 金	↓ 無	↓ 無	↓ 無	↓ 草
本区	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
西大池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
山田	18	1	7	2	1	14	4	0	0	14	117	8	12	9	0	0
有野	7	0	0	7	0	5	3	0	0	9	62	4	13	6	0	0
道場	7	1	0	0	0	2	3	0	0	4	32	6	7	3	0	0
大沢	21	4	3	6	0	15	10	0	0	9	78	5	4	2	0	0
淡河	31	2	14	15	3	15	17	1	0	16	144	4	8	12	0	0
長尾	5	0	1	0	0	6	1	0	0	3	54	1	9	3	1	0
八多	6	1	5	1	0	5	1	0	0	5	82	9	12	7	0	0
合計	98	9	30	31	4	62	39	1	0	60	571	37	66	42	1	0

(資料3) 文化財となっている北区の茅葺き民家数

文化財の茅葺き民家	H2	H7	H15	H20
本区	0	0	1	2
西大池	0	0	0	0
山田	1	1	4	4
有野	1	1	3	3
道場	0	0	3	3
大沢	0	0	3	3
淡河	0	0	7	5
長尾	0	0	2	2
八多	0	0	1	1
合計	2	2	24	23
H2比	100.0%	100.0%	1200.0%	1150.0%
草屋根 に対する割合	0.6%	0.9%	17.5%	23.2%

資料1 ENQ調査票（実物はB5サイズ）

淡河町中山

茅葺き民家居住者アンケート

設問1.現在、茅葺き民家はどのような状況ですか
(□内に☑して下さい。例：☑1.茅葺き屋根を維持している)

1.茅葺き屋根を維持している
2.屋根をトタン等で覆った(内部に茅は残っている)
3.建替え、改築等により、茅葺きではなくなった
4.解体した

設問2.設問1.で回答された理由を下記から選んで下さい。
(複数選んでいただいても結構です。□内に☑して下さい。)

1.代々伝わったものを後世に残したい
2.茅葺きが気に入っている 3.維持する方が安価
4.文化財に指定されているので行政の支援がある
5.茅葺き職人がいない 6.憩意にしていた茅葺き職人が引退
7.葺き替え費用が高価 8.耐火性が不安 9.耐震性が不安
10.家族の要望 11.手狭になった 12.老朽化
13.敷地の転用 14.不要になった
15.その他()

設問1.で3,4.にご回答された方は(設問3.設問4.をとばして)
設問5.にご回答下さい。

設問3.今後茅葺き民家をどのようにされる予定ですか。
(□内に☑して下さい。)

1.茅葺き屋根のまま維持していきたい
2.屋根をトタンで覆いたい
3.トタンのまま維持したい
4.建替え、改築をして、茅葺きではなくしたい
5.解体したい

裏面にも、ご回答願います。

設問4.設問3.で回答された理由を下記から選んで下さい。
(複数選んでいただいても結構です。□内に☑して下さい。)

1.代々伝わったものを後世に残したい
2.茅葺きが気に入っている 3.維持する方が安価
4.文化財に指定されているので行政の支援がある
5.茅葺き職人がいない 6.憩意にしていた茅葺き職人が引退
7.葺き替え費用が高価 8.耐火性が不安 9.耐震性が不安
10.家族の要望 11.手狭になった 12.老朽化
13.敷地の転用 14.不要になった
15.その他()

設問5.茅葺きについてご意見がございましたら、記入願います。

()

ご回答ありがとうございました。
誠に恐縮ですが、10月20日(月)までに、同封の封筒にて、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

区役所からのお願い
区役所では、今後茅葺き民家についての情報の発信を企画しております。
情報提供をご希望の方は、下記にご記入願います。

ご住所	〒 神戸市北区
お名前	

尚、お寄せいただきました情報は適切に管理し、茅葺き民家に関する統計、及び情報提供にのみ使用させていただきます。

担当 北区まちづくり推進課 浅貝・吉山

資料2 ENQ回答結果表

	問1				問2										問3				問4																						
	維持	トタン	建替/改築	解体	代々伝わった	気に入っている	安価	文化財の指定	職人がいない	職人が引退	費用が高価	耐火性	耐震性	家族の要望	手狭	老朽化	敷地転用	不要になった	その他	維持したい	トタンで覆う	トタンで維持	建替/改築	解体	代々伝わった	気に入っている	安価	文化財の指定	職人がいない	職人が引退	費用が高価	耐火性	耐震性	家族の要望	手狭	老朽化	敷地転用	不要になった	その他		
問1 維持	37	37	0	0	24	17	4	10	6	4	10	3	2	2	0	4	0	0	3	27	2	0	5	3	20	16	1	5	6	3	6	6	1	2	0	6	0	0	4		
トタン	302	0	302	0	54	48	65	0	110	22	114	65	22	9	0	48	2	4	20	0	0	224	45	8	50	40	83	1	60	14	65	41	29	11	2	51	4	3	22		
建替/改築	82	0	0	82	2	0	0	0	14	1	10	15	13	10	8	53	1	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0		
解体	17	0	0	2	17	0	0	0	3	0	2	0	2	4	3	10	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
問2 代々伝わった	78	24	54	0	78	31	13	7	15	6	19	13	7	3	0	4	1	0	1	22	1	48	3	1	61	30	14	6	10	6	11	11	5	2	0	4	1	0	2		
気に入っている	65	17	48	0	31	65	13	3	12	4	18	9	4	2	0	8	0	0	0	15	1	43	5	0	32	45	10	4	10	3	14	7	3	2	0	4	0	0	0		
安価	69	4	65	0	13	13	69	1	21	3	25	14	6	2	0	10	0	0	2	0	50	12	0	12	9	41	1	14	3	15	11	5	4	0	11	0	0	3			
文化財の指定	10	10	0	0	7	3	1	10	2	2	4	3	0	0	1	0	0	0	1	7	1	0	0	1	7	2	1	5	2	1	4	4	0	0	1	0	0	1			
職人がいない	133	6	110	14	3	15	12	21	2	133	15	72	38	14	4	2	28	1	9	4	2	83	19	1	10	10	31	1	59	9	38	21	15	3	1	20	0	1	5		
職人が引退	27	4	22	1	0	6	4	3	2	15	27	12	8	2	0	0	2	0	0	1	3	0	18	3	1	5	2	5	1	12	14	7	5	2	1	0	3	1	0	2	
費用が高価	135	10	114	10	2	19	18	25	4	72	12	135	41	12	5	4	33	1	1	7	8	0	87	22	3	17	13	39	3	35	8	63	19	15	6	1	22	1	1	8	
耐火性	83	3	65	15	0	13	9	14	3	38	8	41	83	23	4	1	27	1	1	5	3	0	48	15	2	12	6	19	3	16	5	21	33	18	2	1	14	2	1	6	
耐震性	38	2	22	13	2	7	4	6	0	14	2	12	23	38	1	1	22	0	1	2	1	0	11	8	4	5	3	5	0	4	1	5	12	15	0	9	1	1	2		
家族の要望	25	2	9	10	4	3	2	2	0	4	0	5	4	1	25	6	12	0	2	4	1	0	8	1	1	3	2	4	0	1	0	2	1	0	5	1	2	0	0	2	
手狭	10	0	0	8	3	0	0	0	2	0	4	1	1	6	10	9	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
老朽化	114	4	48	53	10	4	8	10	1	28	2	33	27	22	12	9	114	0	6	6	2	0	27	18	7	3	3	14	1	9	3	16	8	7	2	1	28	3	4	4	
敷地転用	3	0	2	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
不要になった	8	0	4	0	3	0	0	0	1	0	1	1	1	2	0	6	0	8	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	4	0	
その他	39	3	20	12	3	1	0	0	1	9	1	7	5	2	4	1	6	0	2	39	2	0	12	3	2	1	1	2	0	2	0	1	0	1	1	0	4	1	1	9	
問3 維持したい	27	27	0	0	22	15	2	7	4	3	8	3	1	1	0	2	0	0	2	27	0	0	1	0	19	15	1	5	4	3	4	5	0	2	0	1	0	0	2		
トタンで覆う	2	2	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
トタンで維持	224	0	224	0	48	43	50	0	83	18	87	48	11	8	0	27	0	0	12	0	224	4	0	48	38	79	1	54	12	59	29	15	6	0	19	0	0	17			
建替/改築	50	5	45	0	3	5	12	0	19	3	22	15	8	1	0	18	2	2	3	1	0	4	50	2	2	2	3	0	8	2	5	15	17	5	2	34	3	1	8		
解体	12	3	8	0	1	0	0	1	1	1	3	2	4	1	0	7	0	2	2	0	0	0	2	12	0	0	0	0	1	1	2	1	2	0	10	2	2	1			
問4 代々伝わった	70	20	50	0	61	32	12	7	10	5	17	12	5	3	0	3	1	0	1	19	1	48	2	0	70	29	14	6	6	6	7	9	4	2	0	1	1	0	1		
気に入っている	56	16	40	0	30	45	9	2	10	2	13	6	3	2	0	3	0	0	1	15	1	38	2	0	29	56	6	2	6	1	10	4	1	2	0	1	0	0	0		
安価	84	1	83	0	14	10	41	1	31	5	39	19	5	4	0	14	0	0	2	1	0	79	3	0	14	6	84	1	17	2	21	10	6	3	0	7	0	0	2		
文化財の指定	6	5	1	0	0	6	4	1	5	1	3	3	0	0	0	1	0	0	0	5	0	1	0	0	6	2	1	6	1	1	3	3	0	0	0	0	0	0			
職人がいない	66	6	60	0	10	10	14	2	59	12	35	16	4	1	0	9	0	0	2	4	1	54	8	1	6	6	17	1	66	10	33	16	8	2	0	13	0	0	3		
職人が引退	17	3	14	0	6	3	3	1	9	14	8	5	1	0	0	3	0	0	0	3	0	12	2	1	6	1	2	1	10	17	6	2	1	0	0	2	1	0	1		
費用が高価	72	6	65	0	11	14	15	4	38	7	63	21	5	2	0	16	0	0	1	4	1	59	5	2	7	10	21	3	33	6	72	16	7	2	0	10	0	0			
耐火性	47	6	41	0	11	7	11	4	21	5	19	33	12	1	0	8	0	0	0	5	0	29	15	1	9	4	10	3	16	2	16	47	20	2	1	14	0	0	3		
耐震性	30	1	29	0	5	3	5	0	15	2	15	18	15	0	0	7	0	0	1	0	0	15	17	2	4	1	6	0	8	1	7	20	30	1	0	18	1	0	3		
家族の要望	13	2	11	0	2	2	4	0	3	1	6	2	0	5	0	2	1	1	1	2	0	6	5	0	2	2	3	0	2	0	2	2	1	13	0	3	1	1	1		
手狭	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	
老朽化	59	6	51	1	0	4	4	11	1	20	3	22	14	9	2	28	0	2	4	1	0	19	34	10	1	1	7	0	13	2	10	14	18	3	1	59	1	1	4		
敷地転用	4	0	4	0	1	0	0	0	1	1	2	1	0	0	3	1	1	1	0	0	0	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	4	1	1		
不要になった	5	0	3	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	4	0	4	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	5	0		
その他	26	4	22	0	2	0	3	1	5	2	8	6	2	2	0	4	0	0	9	2	0	17	8	1	1	0	2	0	3	1	0	3	3	1	0	4	1	0	26		

	問1				問2										問3				問4									
	維持	トタン	建替/改築	解体	代々伝わった	気に入っている	安価	文化財の指定</																				